



## 平成25年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月30日

上場会社名 パーク24株式会社

上場取引所 東

コード番号 4666 URL <http://park24.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西川 光一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画本部長

(氏名) 佐々木 賢一

TEL 03-3213-8900

四半期報告書提出予定日 平成25年6月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年10月期第2四半期の連結業績(平成24年11月1日～平成25年4月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年10月期第2四半期	73,895	9.9	8,815	9.1	8,750	11.5	4,832	13.1
24年10月期第2四半期	67,221	16.4	8,078	52.9	7,851	55.4	4,273	131.9

(注) 包括利益 25年10月期第2四半期 5,084百万円 (31.3%) 24年10月期第2四半期 3,873百万円 (102.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年10月期第2四半期	33.54	31.72
24年10月期第2四半期	29.84	29.71

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年10月期第2四半期	129,903	48,317	36.9
24年10月期	117,808	47,893	40.4

(参考) 自己資本 25年10月期第2四半期 47,974百万円 24年10月期 47,544百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年10月期	—	0.00	—	35.00	35.00
25年10月期	—	0.00	—	—	—
25年10月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年10月期の連結業績予想(平成24年11月1日～平成25年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	155,000	11.1	20,500	15.1	20,000	15.5	11,200	15.8	77.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年10月期2Q	150,699,504 株	24年10月期	150,344,504 株
25年10月期2Q	6,460,897 株	24年10月期	6,460,837 株
25年10月期2Q	144,058,409 株	24年10月期2Q	143,245,949 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年11月1日～平成25年4月30日）におけるわが国経済は、新政権による経済財政運営への期待を先取りする形で、過度な円高の修正や株価の回復が進み、消費者物価の緩やかな下落は継続しているものの、個人消費は底堅く推移し、生産に持ち直しの動きがみられる状態となっております。

このような環境のもと当社グループは、快適なクルマ社会の実現に向け、ドライバーの方々の目線に立ったサービスを拡大することを目指し、当社グループが提供するサービスを「タイムズ」に統一するとともに、「駐車場事業」においては件数・台数の拡大を、「モビリティ事業」においてはレンタカーサービスの収益基盤拡大とカーシェアリングサービスの市場創造に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は738億95百万円（前年同期比9.9%増）、営業利益88億15百万円（同9.1%増）、経常利益87億50百万円（同11.5%増）、ブランド変更費用を特別損失に8億1百万円計上し四半期純利益48億32百万円（同13.1%増）となりました。

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### 「駐車場事業」

地域別の3事業本部と法人営業本部へと組織変更を行い、開発面においては半期ベースで過去最高の1,017件の開発件数となりました。街の核となる大型駐車場から、使いやすく利便性の高い小型の駐車場まで、ドミナントの深耕を図っております。また、運営面においては駐車場特性にあわせた料金設定、近隣店舗向けの駐車チケットの販売等の施策を継続的に実施しております。

この結果、当四半期連結累計期間末におけるタイムズ駐車場の運営件数は12,457件（前連結会計年度末比105.9%）、運営台数は423,239台（同106.9%）、月極駐車場及び管理受託駐車場を含めた総運営件数は13,877件（同105.4%）、総運営台数は523,726台（同105.9%）となり、当事業の売上高（セグメント間の内部売上高を含む）は589億2百万円（前年同期比7.9%増）、営業利益は120億28百万円（同7.1%増）となりました。

#### 「モビリティ事業」

2013年4月よりレンタカーサービス「マツダレンタカー」を「タイムズカー レンタル」へ、カーシェアリングサービス「タイムズプラス」を「タイムズカー プラス」へブランド変更したほか、2012年11月にロードサービスを提供する㈱レスキューネットワークの社名をタイムズレスキュー㈱に変更致しました。また、ドライバー向け会員サービス「タイムズクラブ」のポイントサービスを、駐車場事業のお客様のみならずモビリティ事業のお客様にも対象を拡げて、より「たまりやすい」、より「つかいやすい」ポイントサービスに刷新しました。

タイムズカー レンタルについては、店舗網の拡大、法人向け営業の強化、店舗オペレーション品質の向上等により顧客層の拡大に努めております。また、タイムズカー プラスについては、展開エリアに密着したプロモーションを実施したほか、配備車両の増加と運用システムの改善等により、さらに利用しやすい環境作りをすすめております。

この結果、当四半期連結累計期間末のモビリティ事業全体の車両台数は31,617台（前連結会計年度末比106.9%、うち、タイムズカープラスの車両台数は5,763台）、タイムズカープラスの会員数は197,857人（同131.6%）となり、当事業の売上高（セグメント間の内部売上高を含む）は150億65百万円（前年同期比18.3%増）、営業損失は1億60百万円（前年同期は4億69百万円の営業損失）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比120億95百万円増加して1,299億3百万円となりました。これは主として現金及び預金が79億61百万円、機械装置及び運搬具が13億39百万円、リース資産が10億39百万円増加したことなどによるものです。

負債合計は、同116億71百万円増加し、815億86百万円となりました。これは主として転換社債型新株予約権付社債の発行により新株予約権付社債が200億円増加し、長短借入金が81億55百万円減少したことなどによるものです。

純資産は、四半期純利益の計上により48億32百万円、ストック・オプションの行使による新株の発行により3億81百万円増加したほか、利益剰余金の配当により50億35百万円減少したことなどにより、同4億23百万円増加し、483億17百万円となりました。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べて79億61百万円増加し、199億89百万円となりました。

当四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下の通りです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られたキャッシュ・フローは、90億63百万円（前年同期比24億円の減少）となりました。主な内訳といたしましては、減価償却費を加えた税金等調整前四半期純利益157億23百万円に対し、法人税等の支払額69億35百万円があったことなどによるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用したキャッシュ・フローは、66億50百万円（前年同期比1億72百万円の減少）となりました。これは主として、タイムズ駐車場開設や営業車両の取得に伴う有形固定資産の取得による支出42億35百万円、長期前払費用の取得による支出20億33百万円によるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、54億97百万円の調達（前年同期比99億11百万円の収入の増加）となりました。これは、配当金の支払額50億38百万円、長期借入金の返済97億31百万円、リース債務の返済15億16百万円等の支出があった一方、新株予約権付社債の発行による収入200億円、長期借入れによる収入17億円があったことなどによるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年10月期の連結業績予想につきましては、「平成24年10月期 決算短信」（平成24年12月13日付）で公表した数値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,044	20,005
受取手形及び売掛金	5,757	5,655
たな卸資産	620	671
その他	9,509	10,702
貸倒引当金	△40	△23
流動資産合計	27,891	37,010
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,689	12,477
機械装置及び運搬具(純額)	21,784	23,123
土地	24,657	24,657
リース資産(純額)	11,980	13,020
その他(純額)	3,646	3,716
有形固定資産合計	74,757	76,995
無形固定資産		
のれん	1,711	1,533
その他	1,092	1,118
無形固定資産合計	2,804	2,651
投資その他の資産	12,355	13,245
固定資産合計	89,917	92,893
資産合計	117,808	129,903
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,143	596
短期借入金	19,990	15,755
未払法人税等	5,801	3,144
賞与引当金	1,078	1,043
引当金	100	59
その他	16,440	18,861
流動負債合計	44,555	39,461
固定負債		
新株予約権付社債	1,000	21,000
長期借入金	11,401	7,480
退職給付引当金	800	742
引当金	262	257
資産除去債務	3,711	3,921
その他	8,183	8,723
固定負債合計	25,360	42,125
負債合計	69,915	81,586

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,435	7,626
資本剰余金	9,188	9,379
利益剰余金	41,653	41,449
自己株式	△9,343	△9,343
株主資本合計	48,934	49,112
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37	78
土地再評価差額金	△1,052	△1,052
為替換算調整勘定	△375	△163
その他の包括利益累計額合計	△1,389	△1,137
新株予約権	348	342
純資産合計	47,893	48,317
負債純資産合計	117,808	129,903

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)
売上高	67,221	73,895
売上原価	48,690	53,412
売上総利益	18,530	20,482
販売費及び一般管理費	10,451	11,666
営業利益	8,078	8,815
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	2	2
持分法による投資利益	18	12
駐車場違約金収入	28	23
未利用チケット収入	67	70
為替差益	—	131
その他	73	46
営業外収益合計	192	288
営業外費用		
支払利息	197	132
駐車場解約費	183	174
その他	37	46
営業外費用合計	419	353
経常利益	7,851	8,750
特別損失		
固定資産除却損	—	12
ブランド変更費用	—	801
特別損失合計	—	814
税金等調整前四半期純利益	7,851	7,936
法人税、住民税及び事業税	3,374	3,012
法人税等調整額	202	91
法人税等合計	3,577	3,103
少数株主損益調整前四半期純利益	4,273	4,832
四半期純利益	4,273	4,832

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,273	4,832
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	40
土地再評価差額金	△431	—
為替換算調整勘定	27	76
持分法適用会社に対する持分相当額	9	135
その他の包括利益合計	△400	251
四半期包括利益	3,873	5,084
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,873	5,084

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	7,851	7,936
減価償却費	6,638	7,787
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△48	△58
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	19	△4
受取利息及び受取配当金	△4	△3
支払利息	197	132
固定資産除却損	—	12
売上債権の増減額(△は増加)	51	105
たな卸資産の増減額(△は増加)	326	273
仕入債務の増減額(△は減少)	△47	△547
未収入金の増減額(△は増加)	△1,123	309
前払費用の増減額(△は増加)	378	△31
未払金の増減額(△は減少)	200	△1,341
設備関係支払手形の増減額(△は減少)	△471	△67
その他	1,072	1,629
小計	15,040	16,132
利息及び配当金の受取額	4	3
利息の支払額	△195	△137
法人税等の支払額	△3,386	△6,935
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,463	9,063
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△6	△6
定期預金の払戻による収入	6	6
有形固定資産の取得による支出	△5,340	△4,235
有形固定資産の売却による収入	11	11
無形固定資産の取得による支出	△95	△224
投資有価証券の売却による収入	20	3
長期前払費用の取得による支出	△1,178	△2,033
その他	△241	△172
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,823	△6,650
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△4,549	△296
長期借入れによる収入	7,600	1,700
長期借入金の返済による支出	△3,004	△9,731
リース債務の返済による支出	△1,250	△1,516
新株予約権付社債の発行による収入	—	20,000
株式の発行による収入	1,060	380
配当金の支払額	△4,269	△5,038
その他	0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,413	5,497
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	50
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	233	7,961
現金及び現金同等物の期首残高	11,981	12,028
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,215	19,989

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年11月1日 至 平成24年4月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	駐車場事業	モビリティ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	54,504	12,716	67,221	—	67,221
セグメント間の内部売上高 又は振替高	68	15	84	△84	—
計	54,573	12,732	67,306	△84	67,221
セグメント利益又は損失(△)	11,230	△469	10,760	△2,681	8,078

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△2,681百万円には、のれんの償却額△178百万円、全社費用△2,503百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年11月1日 至 平成25年4月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	駐車場事業	モビリティ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	58,843	15,051	73,895	—	73,895
セグメント間の内部売上高 又は振替高	58	13	72	△72	—
計	58,902	15,065	73,967	△72	73,895
セグメント利益又は損失(△)	12,028	△160	11,867	△3,051	8,815

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△3,051百万円には、のれんの償却額△178百万円、全社費用△2,873百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。